

Graduate School of Science, The University of Osaka
School of Science, The University of Osaka

PROFILE 2026

$$\left\{ \prod_{n=1}^{\infty} (1 - q^n) \right\}^{24}$$
$$\sum_{n=1}^{\infty} \tau(n) q^n$$
$$\tau(p) \tau(p^{m+1}) - p'' \tau(p^m)$$

大阪大学大学院理学研究科・理学部

数 学

物 理 学

化 学

生物科学

高分子科学

宇宙地球科学



C O N T E N T S

■ はじめに	大阪大学大学院理学研究科長・理学部長 近藤 忠	1
■ 沿革		2
■ 受賞等		3
■ 歴代研究科長・学部長		4
■ 運営組織		
■ 組織		5
■ 教職員数		
■ 学生数		6
■ 入学者状況		7
■ 学部卒業者数		
■ 大学院学位授与者数		
■ 国際交流		8
■ 財務状況		10
■ 外部資金受入額		
■ 特許件数		11
■ 特色ある研究		
■ 豊中キャンパスMAP		12
■ 理学研究科MAP		13
■ アクセス		

はじめに

大阪大学大学院理学研究科長・理学部長

近藤 忠



大阪大学は地元財界の全面的な財政的支援を受け、昭和6年（1931年）に国内で6番目の帝国大学として創設されました。当初は、医学部と理学部の2学部でしたが、昭和8年（1933年）に工学部を加え、3学部からなる総合大学となりました。初代総長は、土星型原子模型を提唱したことで有名な物理学者の長岡半太郎博士であり、研究第一主義を掲げ、漆の研究で有名な眞島利行理学部長の下、代数学の正田健次郎、八木アンテナを発明した八木秀次、X線構造解析の仁田勇、原子物理学の菊池正士などの諸先生が集い、若々しい理学部の活発な研究を支えました。その後、まだ学位取得前の湯川秀樹氏が講師として加わり、中間子論の研究を進めて本学で博士号を取得されました。まさにその時の研究成果が、後に、日本初のノーベル賞に輝いたのです。以来、理学部は『勿嘗糟粕（そうはくをなむるなかれ）』という長岡半太郎博士の言葉を精神的規範とし、世界に先駆けた独創的な研究と教育を続けています。



長岡半太郎博士の揮筆によるもので「勿嘗糟粕」糟粕（そうはく）を嘗（な）むる勿（なか）れと読み、“つねに創造的であれ”といった意味である。

現在の理学研究科・理学部は、6専攻4学科からなり、約200名の専任教員、約1200名の学部学生、約900名の大学院生を擁し、大阪大学の中でも中核的な部局の一つです。平成16年度（2004年度）の国立大学法人化の際には、迅速な意思決定を行うべく、それまでの教授会の機能の一部を、専攻長・学科長合同会議で代行することを決めました。また、研究科長と教育・研究・運営を担う6名の副研究科長及び事務長などからなる企画調整会議を組織し、研究科のさまざまな企画や予算運用などについての立案を行っています。

令和4年（2022年）には、大型のプロジェクト研究を推進する基盤的役割を果たしてきた『基礎理学プロジェクト研究センター（PRC）』を発展的に改組して『フォアフロント研究センター（FRC）』を設立し、専攻や研究科などの従来の枠組みを超えた分野横断型プロジェクトや産学連携研究を推進する場を提供するとともに、若手研究者が挑戦的な研究を徹底的に推進する機会を与え、将来的にノーベル賞級の独創的基礎研究を生み出せるような研究環境の整備を行っています。また、FRCの研究活動拠点となる建物（理学J棟）の2階にある南部陽一郎ホールでは、公開講座であるサイエンスナイトをはじめとする社会連携を図るさまざまな企画を実施しており、理学研究の成果を開かれたものとする活動が展開されています。

自然界に見え隠れする理（ことわり）を明らかにする「理学」という学問分野の歴史は長く、人類がこれまで蓄積した知や技術の先にあるフロンティアを常に探求して、これまでも新たな真理の発見と新しい概念の構築に貢献してきました。最先端の科学技術の発展に伴う大きな社会変革や、世界的規模となっている自然界の環境変化が進む現在においては、科学の基盤となる理学を学び、人類社会の発展に貢献していく意義と責任はこれまで以上に重くなっていると感じます。最先端研究の多くでは、高校で学ぶ理科のような分野の境界は曖昧となっており、時に工学的要素も含めながら既存の研究分野が協力・融合した新たなテーマの学術研究が日々進行しています。日常の小さな疑問や純粋な興味から始まった研究成果が、社会に役立つ技術に発展した例は、枚挙にいとまがありません。理学はすべての科学を育むための「根源となる泉」のような存在であるとも言えます。人々の内面にも、また地球外にまで世界観が広がってきている今こそ、自然界の不思議に目を向け、その謎解きに真剣に取り組むという理学の精神を、理学部・理学研究科のすべての教員と学生が共有し、未来に発展的に引き継いでいきたいと思っています。

沿革

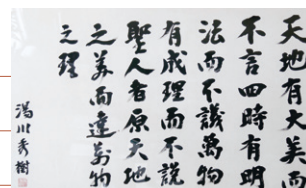
昭和6年	5月	大阪大学理学部は、大阪帝国大学発足と同時に医学部と共に大阪市北区常安町（現北区中之島4丁目）に創設
昭和7年	10月	数学、物理学、化学の3学科発足
昭和8年	4月	理学研究科は、旧制大学院学生受け入れ
昭和24年	6月	生物学科新設
昭和27年	4月	生物学科大学院学生受け入れ
昭和28年	4月	数学系1、物理学系3、化学系2及び生物学系2の計8専攻で新学制による理学研究科修士課程発足
昭和30年	4月	博士課程の学生受け入れ
	7月	附属原子核研究施設（昭和53年度原子核実験施設）設置
昭和31年		附属蛋白質研究施設（昭和33年蛋白質研究所）設置
昭和34年	4月	高分子学科新設に加え、理学研究科博士課程が発足 極低温実験施設（昭和46年低温センター）設置
昭和38年	4月	高分子学専攻新設
昭和39年	4月	理学部が豊中地区へ移転を開始（昭和41年3月に移転完了） 理学部本館建設工事中に「マチカネワニの化石」を発見
昭和41年	4月	物理学系3専攻（原子核宇宙線学、物性学、物理実験学）を物理学専攻に統合
昭和54年	4月	附属化学熱学実験施設（平成元年度附属ミクロ熱研究センター・平成11年度附属分子熱力学研究センター・平成21年度附属構造熱科学研究センター・平成31年度附属熱・エントロピー科学研究センター）設置
昭和55年	4月	超強磁場実験施設 （昭和62年度極限物質研究センター・平成8年度極限科学研究センター・平成18年度極限量子科学研究センター・平成26年度附属先端強磁場科学研究センター）設置
平成3年	4月	宇宙・地球科学学科新設
平成6年	4月	大阪大学教養部の廃止と共に、理系教官の大部分が理学部に合流
平成7年	4月	宇宙地球科学専攻（修士）新設
平成8年	4月	大学院重点化に伴い、理学研究科を数学専攻、物理学専攻、化学専攻、生物科学専攻、高分子科学専攻、宇宙地球科学専攻の6専攻に再編 理学部を数学科、物理学科（物理学・宇宙地球科学）、化学科（化学・高分子学）、生物学科の4学科に再編
平成9年	4月	宇宙地球科学専攻（博士）新設
平成11年	4月	附属原子核実験施設の大学院附属化（学部から研究科へ移行）
平成16年	4月	国立大学法人大阪大学に移行
平成18年	4月	生物学科は、生物科学科に名称変更
平成20年	4月	生物科学科に生命理学コース新設
平成23年	10月	附属原子核実験施設が核物理研究センターと統合 附属基礎理学プロジェクト研究センター（平成27年7月 拡張改組・令和4年度附属フォアフロント研究センター）設置
令和7年	4月	共通施設質量分析センター設置



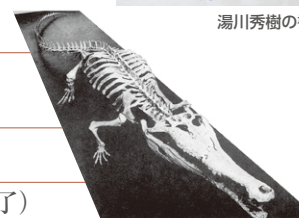
昭和6年5月開学式



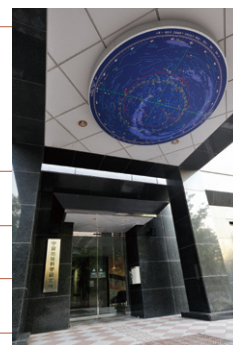
旧理学部 中之島



湯川秀樹の書



マチカネワニ化石



F棟（正面玄関）



本館（外観）

受賞等

<国際賞> ノーベル賞

氏 名	受賞対象研究・研究分野等	受賞年
湯川 秀樹	物理学賞「中間子の存在を理論的に予言」	1949

ラスカー賞

氏 名	受賞対象研究・研究分野等	受賞年
花房 秀三郎	アルバート・ラスカー基礎医学研究賞 「RNA腫瘍ウイルスによる発癌機構およびウイルスゲノム内に存在する癌遺伝子の役割に関する研究」	1982

ウルフ賞

氏 名	受賞対象研究・研究分野等	受賞年
佐藤 幹夫	数学部門「代数解析学の創始、[超関数と超局所関数の理論、ホロノミック量子場理論、ソリトン方程式の統一理論を含む代数解析学の創造]」	2002-2003

日本国際賞

氏 名	受賞対象研究・研究分野等	受賞年
岡本 佳男	らせん高分子の精密合成と医薬品等の実用的光学分割材料の開発への先駆的貢献「物質・材料・生産分野」	2019

<国内賞> 文化勲章

氏 名	受賞対象研究・研究分野等	受章年
長岡 半太郎	物理学	1937
湯川 秀樹	原子物理学	1943
岡部 金治郎	電気工学	1944
眞島 利行	化学	1949
菊池 正士	原子物理学	1951
八木 秀次	電気工学	1956
赤堀 四郎	生物有機化学	1965
仁田 勇	結晶化学	1966
正田 建次郎	数学	1969
今井 功	流体力学	1988
小田 稔	宇宙物理学	1993
花房 秀三郎	ウイルス学・腫瘍学	1995

文化功労者

氏 名	受賞対象研究・研究分野等	受賞年
湯川 秀樹	物理学	1951
岡部 金治郎	電気工学	1951
眞島 利行	化学	1951
菊池 正士	原子物理学	1952
八木 秀次	電気工学	1956
赤堀 四郎	生物有機化学	1965
仁田 勇	結晶化学	1966
正田 建次郎	数学	1969
今井 功	流体力学	1979
佐藤 幹夫	数学	1984
小田 稔	宇宙物理学	1986
花房 秀三郎	ウイルス学・腫瘍学	1991
田中 靖郎	X線天文学・学術振興	2010

恩賜賞・日本学士院賞

氏 名	受賞対象研究・研究分野等	受賞年
湯川 秀樹	素粒子間の相互作用に関する理論的研究並びに宇宙線中の新素粒子Mesotronの存在に対する予言	1940
岡部 金治郎	磁電管に関する研究	1941
坂田 昌一	二中間子理論	1950
今井 功	航空力学への寄与	1959
永宮 健夫	反強磁性体の理論的研究	1963
吉田 耕作	近代解析の研究	1967
小田 稔	すだれコリメータの発明とX線天文学への寄与	1975
角谷 静夫	函数解析の研究	1982
田中 靖郎	X線天体の相対論的特性	1993

日本学士院賞

氏 名	受賞対象研究・研究分野等	受賞年
眞島 利行	漆の主成分に関する研究	1917
功力 金二郎	抽象空間の研究	1939
仁田 勇	化学構造のX線的研究	1943
小竹 無二雄	毒物の化学的研究	1944
正田 建次郎	最近の抽象代数学に於ける研究	1949
吉川 秀男	昆虫類を材料とする遺伝生化学的研究	1952
中山 正	環論及び表現論に関する研究	1954
赤堀 四郎	蛋白質を構成するアミノ酸の結合状態に関する研究	1955
千谷 利三	安定同位元素に関する研究	1956
奥貫 一男	チトクローム系の研究	1968
神谷 宣郎	植物細胞の原生質流動及び水分生理の研究	1971

氏 名	受賞対象研究・研究分野等	受賞年
久保田 尚志	植物の苦味物質に関する研究	1975
関 集三	固体の構造熱力学的研究	1976
佐藤 幹夫	超関数の理論及びその応用	1976
田沢 仁	巨大藻類細胞の生理学的研究、特に細胞灌流法と細胞モデルの開発	1990
菅 宏	凝相における相変化と緩和過程	1995
金森 順次郎	遷移金属合金の強磁性理論	1996
寒川 賢治	新しい生理活性ペプチドの発見とその基盤的研究ーグレリンを中心としてー	2008
岡本 佳男	らせん高分子の精密合成、構造、機能に関する研究	2014

紫綬褒章（受章時に理学研究科・理学部に所属していた方および、理学研究科・理学部出身の方）

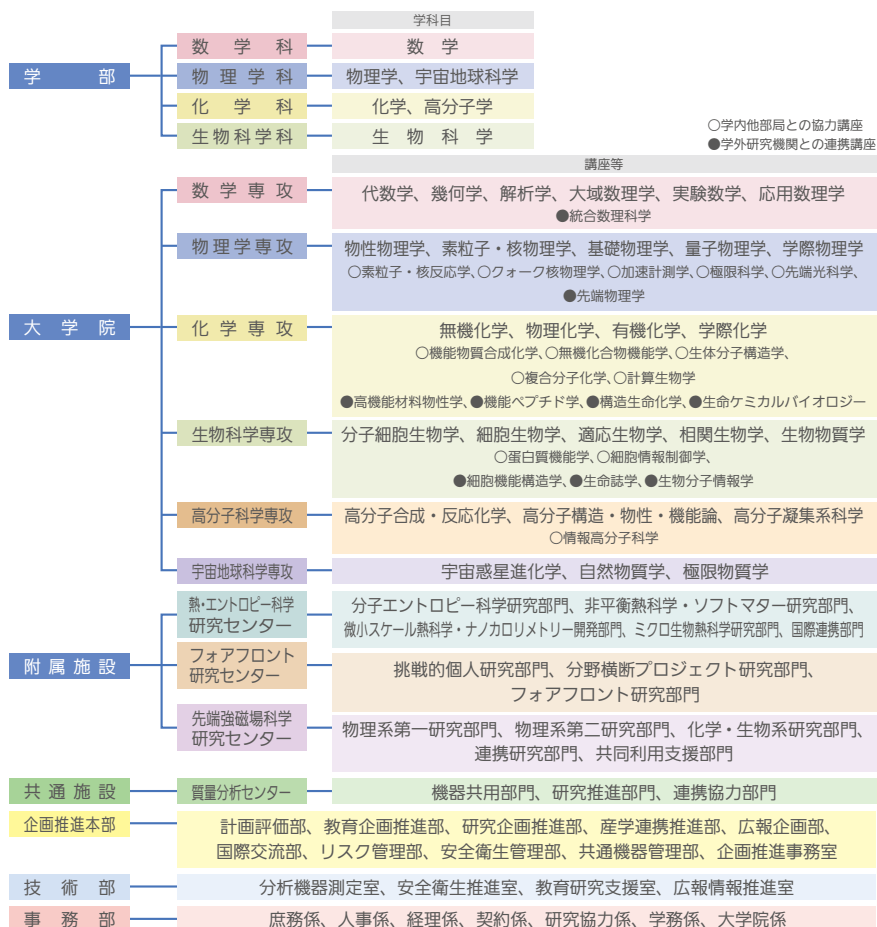
氏 名（受章年）					
千谷 利三（1965）	伏見 康治（1973）	福井 崇時（1985）	伊達 宗行（1991）	原 富之（1994）	宮本 重徳（1996）
中村 晃（1998）	岡本 佳男（2002）	原田 明（2006）	中村 敏一（2006）	大貫 惇睦（2008）	尾崎 幸洋（2018）
					村田 一郎（1996） 吉森 保（2019）

歴代研究科長・学部長

初代研究科長・学部長	眞島 利行	昭和 7年10月 1日 就任 昭和18年2月 3代総長
2代研究科長・学部長	八木 秀次	昭和 14年 3月31日 就任 昭和21年2月 4代総長
3代研究科長・学部長	仁田 勇	昭和 17年 3月31日 就任
4代研究科長・学部長	赤堀 四郎	昭和 22年 3月31日 就任
5代研究科長・学部長	正田建次郎	昭和 24年 3月31日 就任 昭和29年12月 6代総長
6代研究科長・学部長	赤堀 四郎	昭和 28年 7月 1日 就任 昭和35年12月 7代総長
7代研究科長・学部長	仁田 勇	昭和 30年 7月 1日 就任
8代研究科長・学部長	伏見 康治	昭和 34年 7月 1日 就任
9代研究科長・学部長	本城市次郎	昭和 36年 7月 1日 就任
10代研究科長・学部長	村橋 俊介	昭和 41年 7月 1日 就任
11代研究科長・学部長	本城市次郎	昭和 44年 6月16日 就任
12代研究科長・学部長	若槻 哲雄	昭和 44年 7月 1日 就任 昭和50年8月 10代総長
13代研究科長・学部長	松島 祥夫	昭和 49年12月 1日 就任
14代研究科長・学部長	内山 龍雄	昭和 53年 4月 2日 就任
15代研究科長・学部長	音在 清輝	昭和 55年 4月 2日 就任
16代研究科長・学部長	金森順次郎	昭和 56年 4月 2日 就任 平成3年8月 13代総長
17代研究科長・学部長	永尾 汎	昭和 60年 4月 2日 就任
18代研究科長・学部長	池中 徳治	昭和 63年 4月 1日 就任
19代研究科長・学部長	金森順次郎	平成 元年 4月 1日 就任
20代研究科長・学部長	村田 一郎	平成 3年 8月26日 就任
21代研究科長・学部長	伊達 宗行	平成 4年 4月 1日 就任
22代研究科長・学部長	松原 央	平成 5年 4月 1日 就任
23代研究科長・学部長	櫛田 孝司	平成 6年 4月 1日 就任
24代研究科長・学部長	宮西 正宣	平成 10年 4月 1日 就任
25代研究科長・学部長	森島洋太郎	平成 12年 6月24日 就任
26代研究科長・学部長	大坪 久夫	平成 14年 4月 1日 就任
27代研究科長・学部長	楠本 正一	平成 15年 4月 1日 就任
28代研究科長・学部長	小谷 眞一	平成 16年 4月 1日 就任
29代研究科長・学部長	東島 清	平成 20年 4月 1日 就任
30代研究科長・学部長	篠原 厚	平成 23年 8月26日 就任
31代研究科長・学部長	常深 博	平成 27年 8月26日 就任
32代研究科長・学部長	田島 節子	平成 29年 4月 1日 就任
33代研究科長・学部長	深瀬 浩一	令和 2年 4月 1日 就任
現研究科長・学部長	近藤 忠	令和 6年 4月 1日 就任

運営組織

研究科長	近藤 忠	総括、基金、財務、計画評価担当
筆頭副研究科長	久保 孝史	教育担当
副研究科長	昆 隆英	エネルギー対策、学生生活担当
副研究科長	高橋 篤史	国際交流担当
副研究科長	豊田 岐聡	研究推進、産学連携担当
副研究科長	水谷 泰久	研究推進担当
副研究科長	山口 浩靖	社会学連携、広報担当
事務長	脇坂 道久	
事務長補佐	森田 友紀	
事務長補佐	常石 知男	
専攻長		
数学専攻	鎌田 聖一	
物理学専攻	松野 丈夫	
化学専攻	笠松 良崇	
生物科学専攻	進藤 麻子	
高分子科学専攻	高島 義徳	
宇宙地球科学専攻	桂木 洋光	
学科長		
数学科	鎌田 聖一	
物理学科	松野 丈夫	
化学科	笠松 良崇	
生物科学科	進藤 麻子	
附属施設長		
熱・エントロピー科学研究センター	中澤 康浩	
フォアフロント研究センター	豊田 岐聡	
先端強磁場科学研究センター	萩原 政幸	
共通施設長		
質量分析センター	豊田 岐聡	
技術長		
技術部	飯島 憲一	



(2026年6月1日現在)

	教員等														事務職員	技術職員	図書職員	非常勤職員・嘱託職員	合計
	教授	特任教授(常勤)	准教授	特任准教授(常勤)	講師	特任講師(常勤)	助教	特任助教(常勤)	助手	教員(非常勤)	特任学術政策研究員(常勤)	特任学術政策研究員(非常勤)	特任研究員(常勤)	特任研究員(非常勤)					
数学専攻	16	1	14		1		8						4	5			1	6	56
物理学専攻	13		12				16	2	1				3	2				12	61
化学専攻	13	3	8	2	7		12	2					1	3				13	64
生物科学専攻	9		4		3		11			1			1	2				15	46
高分子科学専攻	8		4		1		4					1	4	1				6	29
宇宙地球科学専攻	9		9				10	2		1			1	1				5	38
熱・エントロピー科学研究C	1		1	1			1												4
フォアフロント研究C	1		1					1		2	1		2	1				2	11
先端強磁場科学研究C	1		1				1											1	4
質量分析センター	1		1			1							1		1				5
共同研究講座(食と健康科学共同研究講座)		1				1		1											3
理学部プロジェクト																		2	2
企画推進本部					1		1												2
理工情報系オーナー大学院プログラム事務局																		3	3
先導的量子ビーム応用卓越大学院プログラム事務局															1				1
なんでも相談室										1									1
理学ウェルビーイング支援室			1																1
技術部																16		2	18
技術部分析機器測定室														12				1	13
事務部															37		1	14	52
その他	1	1																	2
合 計	73	6	56	3	13	2	64	8	1	5	1	1	17	27	39	16	2	82	416

学生数

学 部

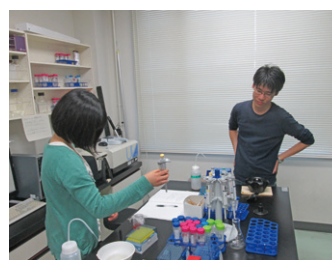
(2026年6月1日現在)

	1年次		2年次		3年次		4年次		合計		合計
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
数学科	43	5	48	3	43	7	66	4	200	19	219
物理学科	70	12	75	7	70	7	87	12	302	38	340
化学科	62	19	60	23	62	16	71	26	255	84	339
生物科学科生物科学コース	14	18	17	14	21	12	21	17	73	61	134
生物科学科生命理学コース	20	5	17	6	15	9	26	5	78	25	103
合 計	209	59	217	53	211	51	271	64	908	227	1,135

大学院（博士前期課程（修士課程））

(2026年6月1日現在)

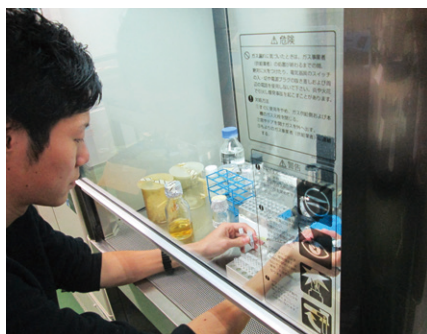
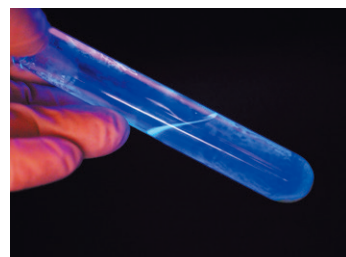
	1年次		2年次		合計		合計
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
数学専攻	32	4	31	2	63	6	69
物理学専攻	69	7	90	5	159	12	171
化学専攻	50	16	47	23	97	39	136
生物科学専攻	37	35	38	22	75	57	132
高分子科学専攻	16	13	23	11	39	24	63
宇宙地球科学専攻	22	9	37	6	59	15	74
合 計	226	84	266	69	492	153	645



大学院（博士後期課程）

(2026年6月1日現在)

	1年次		2年次		3年次		合計		合計
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
数学専攻	12	1	14	0	8	0	34	1	35
物理学専攻	32	1	27	1	28	1	87	3	90
化学専攻	25	11	26	6	14	7	65	24	89
生物科学専攻	9	8	16	6	21	16	46	30	76
高分子科学専攻	10	3	9	1	6	1	25	5	30
宇宙地球科学専攻	7	1	9	1	9	0	25	2	27
合 計	95	25	101	15	86	25	282	65	347



入学者状況

学 部

(2026年度4月入学)

学科名	数 学	物理学	化 学	生物科学		合計
				生物科学コース	生命理学コース	
入学定員	47	76	77	55		255
志願者数*	137	226	173	106	57	699
入学者数	48	82	81	32	25	268

※一般選抜、総合型選抜・学校推薦型選抜以外の志願者は含まれていません

大学院 (博士前期課程)

(2026年度4月入学)

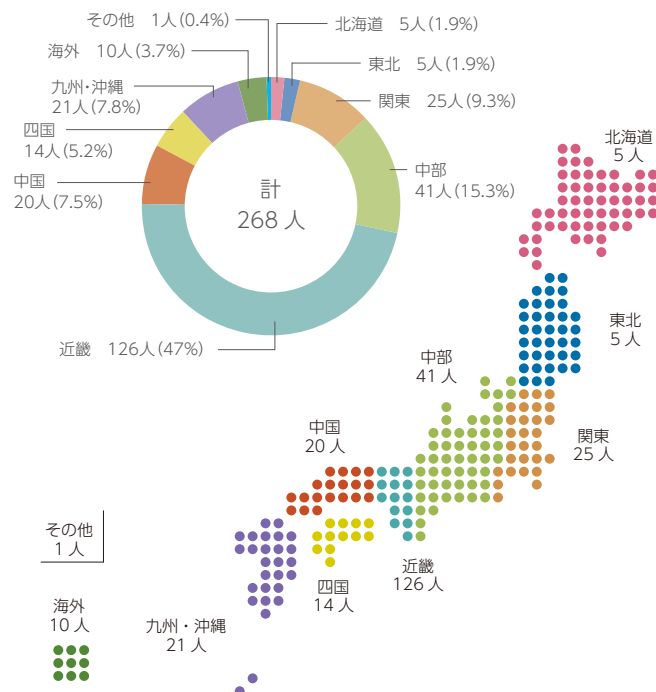
専攻名	数 学	物理学	化 学	生物科学	高分子科学	宇宙地球科学	合計
入学定員	32	68	60	54	24	28	266
志願者数	68	145	86	98	30	57	484
入学者数	36	74	61	69	27	30	297

大学院 (博士後期課程)

(2026年度4月入学)

専攻名	数 学	物理学	化 学	生物科学	高分子科学	宇宙地球科学	合計
入学定員	16	33	30	23	11	13	126
志願者数	12	35	18	14	7	7	93
入学者数	12	30	17	13	6	7	85

出身高校所在地別学部入学者数



学部卒業生数

卒業生数・進路状況

(2025年度)

学科名	数 学	物理学	化 学	生物科学	合計
卒業生数	50	75	76	59	260
卒業生累計					14,265
進学 (大学院)	24	61	69	47	201
就職 (企業等)	17	8	4	7	36
就職 (公務員)		1	1	1	3
就職 (教員)	2	1			3
就 職 (計)	19	10	5	8	42

大学院学位授与者数

学位記授与者数

(2025年度に授与されたもの)

専攻名	数 学	物理学	化 学	生物科学	高分子科学	宇宙地球科学	合計
博士前期課程	22	78	55	63	27	28	273
累計							*11,860
博士後期課程							
課程	5	16	12	16	6	3	58
論文							2
博士後期課程 (累計)							
課程	217	812	498	474	200	142	*3,323
論文							819

※は、新制学位授与者の累計

旧制学位授与者

..... 計 621



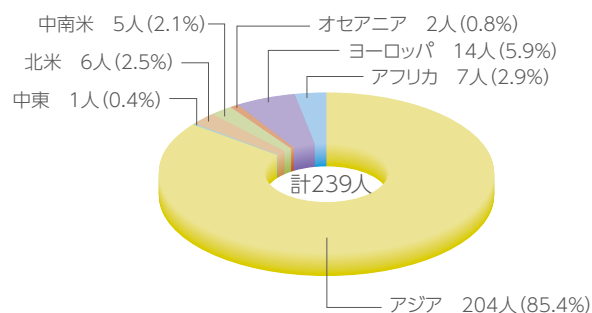
国際交流

外国人留学生数

(2026年4月1日現在)

国・地域	専攻等	数 学			物 理			化 学			生物科学			高分子科学		宇宙地球		非正規生		合計
		学部	前期課程	後期課程	学部	前期課程	後期課程	学部	前期課程	後期課程	学部	前期課程	後期課程	前期課程	後期課程	前期課程	後期課程	学部	大学院	
ア ジ ア																				
インドネシア					1	2	1		2	6		2	2						3	7
シンガポール					1								1							13
スリランカ													1							1
タイ					1	1			1	2			2		1			1		9
韓国	国	1	1		3	1	1	3	1	1	1		2					1		16
台湾						1	1			3		1		1	1			2		10
中国		2	8	6	7	10	10	9	9	17		9	18	2	13	1	1	3	1	126
トルコ								1	1											2
バングラデシュ									1				1							2
フィリピン						1			4	3		1								9
ベトナム					1						1									2
香港									1											1
マレーシア					2		1						1					1		5
計		3	9	6	16	16	14	13	20	32	2	13	28	3	15	1	1	6	6	204
中 東																				
パキスタン												1								1
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
北 米																				
アメリカ					1		1					1	1					1		5
カナダ													1							1
計		0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1	0	6
中 南 米																				
キューバ									1											1
ブラジル			1																	1
ペルー									1											1
ベネズエラ								1												1
メキシコ													1							1
計		0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5
オセアニア																				
オーストラリア						1														1
ニュージーランド								1												1
計		0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
ヨ ー ロ ッ パ																				
イタリア									1											1
イギリス									1			1								2
オランダ									1											1
スイス													1							1
ドイツ															1				2	3
フィンランド			1																	1
フランス							2												2	4
ロシア									1											1
計		0	0	1	0	0	2	0	0	4	0	1	1	0	1	0	0	0	4	14
ア フ リ カ																				
エジプト									1											1
エチオピア							1													1
グアテマラ												1								1
タンザニア												1								1
チュニジア																1				1
ナイジェリア													2							2
計		0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	2	0	0	1	0	0	0	7
総計		3	9	8	17	17	18	15	22	37	2	18	34	3	16	2	1	7	10	239

外国人留学生受入状況



外国人研究者等受入者数

(2025年10月～2026年3月)

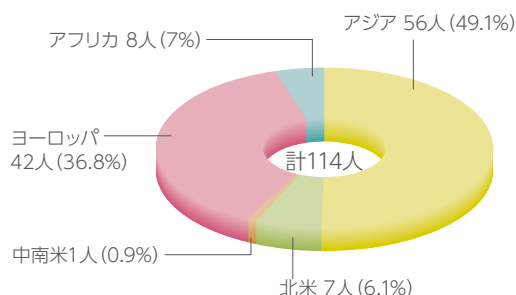
国・地域	受入人数
アジア	
インド	8
インドネシア	7
イラン	1
台湾	5
中国	13
フィリピン	1
マレーシア	5
シンガポール	1
タイ	11
朝鮮	1
韓国	3
計	56
北米	
アメリカ	3
カナダ	4
計	7
中南米	
メキシコ	1
計	1
ヨーロッパ	
イタリア	4
ドイツ	1
イギリス	6
スペイン	4
フランス	9
オランダ	2
ポーランド	8
ウクライナ	2
スウェーデン	1
ベルギー	1
ルーマニア	4
計	42
アフリカ	
南アフリカ	7
モロッコ	1
計	8
合計	114

交流協定締結大学一覧:部局間協定

(2026年6月1日現在)

国・地域	相手大学等名	締結年度
アジア		
インド	インド工科大学ボンベイ (理学部)	2012
インド	インド工科大学カンパール校	2024
インドネシア	パジャジャラン大学 (数学自然科学部)	2018
インドネシア	ブラウィジャヤ大学 (数学自然科学部)	2023
インドネシア	アイルランガ大学(理工学部)	2024
韓国	インハ大学 (理学部)	2011
タイ	スラナリー工科大学 (理学研究科)	2012
タイ	マヒドン大学 (理学部)	2017
タイ	チェンマイ大学 (理学部)	2017
タイ	チュロンコン大学 (理学部/石油 石油化学カレッジ)	2019
タイ	カセサート大学(理学部) カセサート大学(理学部) カセサート大学(理学部)	2026
台湾	国立台湾大学 (理学院・生命科学院)	2009
台湾	中央研究院 (遺伝子研究センター)	2017
台湾	国立清華大学 (理学部)	2018
台湾	国立陽明交通大学 (理学院)	2022
台湾	国立台湾師範大学 (理学院)	2024
台湾	国立中山大学(理学院)	2024
中国	蘭州大学 (物理科学技術学院)	2016
中国	中国科学院近代物理研究所	2023
中国	蘭州大学 (生命科学院)	2024
中国	華南師範大学生命科学部・化学部・物理学部・数理学部、量子物質研究院)	2024
フィリピン	デ・ラ・サール大学 (理学部)	2024
ベトナム	ホーチミン市国家大学 (自然科学大学)	2010
マレーシア	マレーシア科学大学 (化学部、遠隔教育学部)	2024
バングラディシュ	ジャシヨア科学技術大学 (薬学部)	2025
北米		
アメリカ	ケンタッキー大学 (理学部)	2017
アメリカ	メリーランド大学	2017
アメリカ	プリンストン大学	2020
カナダ	ブリティッシュ・コロンビア大学 (理学部)	2006
ヨーロッパ		
イタリア	ジェノア大学	2018
イタリア	ナポリ・フェデリコ二世大学	2019
オランダ	トゥウェンテ大学(電子工学・数理計算機科学研究科及び同学部)	2018
オランダ	グローニンゲン大学 (理工学部)	2025
カザフスタン	アルファラビ・カザフ国立大学 (物理工学部)	2013
ドイツ	フリードリッヒ・ヴィルヘルム大学ボンとケルン大学によるボン・ケルン 統合物理・天文大学院	2011
ドイツ	ブレーメン大学 (物理・電気工学科)	2013
ドイツ	フリードリッヒ・シラー大学イエーナ	2022
ノルウェー	オスロ大学	2025
フランス	グルノーブル理工科大学	2025
ルーマニア	ゲオルグ アサキ ヤシ工科大学	2023
アフリカ		
南アフリカ	南アフリカ天文台	2017

外国人研究者等受入者数



財務状況

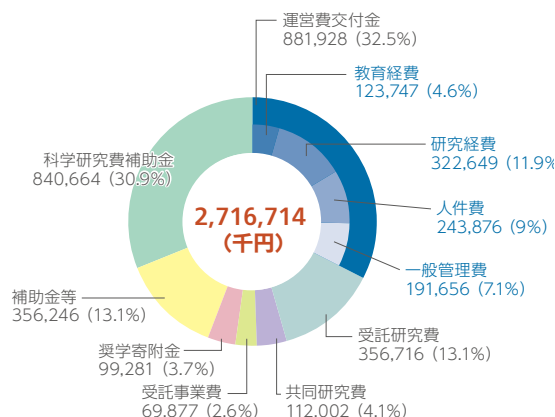
決算額

(2025年度/単位：千円)

経費区分		金額
運営費交付金等	教育経費	123,747
	研究経費	322,649
	教育研究支援経費	0
	人件費 ^(※1)	243,876
	一般管理費	191,656
受託研究費		356,716
共同研究費		112,002
受託事業費		69,877
共同事業費		0
奨学寄附金		99,281
補助金等		356,246
科学研究費補助金		840,664

※1 当研究科の予算で雇用している教職員の人件費を示しています。

※2 受託研究費以下の項目は、間接経費及び前年度からの繰越額を含みます。

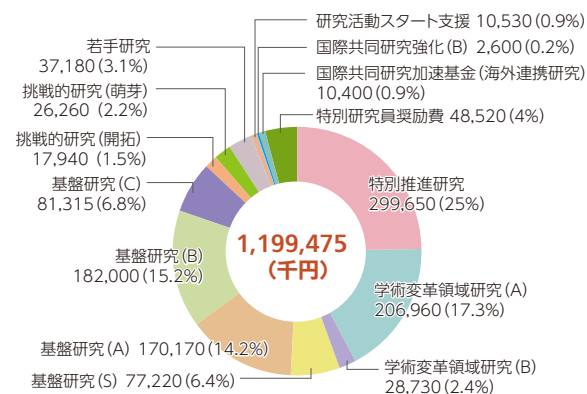


外部資金受入額

科学研究費助成事業

(2025年度/単位：千円)

研究種目	採択件数	交付金額
特別推進研究	2	299,650
学術変革領域研究 (A)	15	206,960
学術変革領域研究 (B)	2	28,730
基盤研究 (S)	3	77,220
基盤研究 (A)	16	170,170
基盤研究 (B)	42	182,000
基盤研究 (C)	59	81,315
挑戦的研究 (開拓)	4	17,940
挑戦的研究 (萌芽)	11	26,260
若手研究	29	37,180
研究活動スタート支援	8	10,530
国際共同研究強化 (B)	1	2,600
国際共同研究加速基金 (海外連携研究)	2	10,400
特別研究員奨励費	44	48,520
合計	238	1,199,475



その他の外部資金

(2025年度/単位：千円)

区分	受入件数	受入金額
共同研究	31	118,493
受託研究	35	327,722
奨学寄附金等 ^(※1)	76	127,765
合計	142	573,980

※1 現物寄附、寄附講座を含む

主な制度名・事業名等

区分	制度名	事業名等
共同研究	共同研究 (国等)	
	共同研究 (企業等)	
	共同研究 (その他)	
受託研究	ワクチン・新規モデルティ研究開発事業	
	国家課題対応型研究開発推進事業	
	戦略的創造研究推進事業	CREST・さきがけ・ERATO
	創発的研究支援事業	
	ムーンショット型研究開発事業	
	先端国際共同研究推進事業	
	宇宙戦略基金	
	大学発新産業創出基金事業	
	革新的GX技術創出事業 (GteX)	
	難治性疾患実用化研究事業	
	資源自律経済システム開発促進事業	
	競争的な水素サプライチェーン構築に向けた技術開発事業	
	カーボンサイクル実現を加速するバイオ由来製品生産技術の開発事業	
その他	受託事業	学術相談 二国間交流事業 JSPS研究拠点形成事業 JSPS国際共同研究事業 先端研究基盤共用促進事業 その他の受託事業
	その他補助金	官民による若手研究者発掘支援事業 外国人研究者招へい事業 大阪市イノベーション創出支援補助金 創発的研究支援事業 科学技術人材育成費補助金 研究大学強化促進費補助金 卓越大学院プログラム 次世代研究者挑戦的研究プログラム助成金 その他補助金

特許件数（申請件数）

【令和7年度 特許国内出願件数および外国出願件数】

（2026年3月31日現在）

	数学	物理学	化学	生物科学	高分子科学	宇宙地球科学	フォアフロント研究センター	技術部
国内	0	0	1	0	5	0	1	0
外国	0	0	0	0	5	0	2	0

特色ある研究 2025年度 プレスリリース

リリース日	件 名	主な研究者等	
2025年	5月8日 宇宙ニュートリノの起源を説明する新理論 —強いニュートリノ/信号と弱いガンマ線の矛盾に新たな解答—	宇宙地球科学専攻	井上 芳幸 准教授
	5月9日 電子の地図が決めていた、“渦”のサイズ —世界最小スキルミオンの誕生メカニズムを解明—	物理学専攻	越智 正之 准教授
	5月9日 赤ちゃん星がガスを食べて成長する様子を大規模3次元シミュレーションで世界初観測！ —星の誕生メカニズムと太陽系起源の解明に期待—	宇宙地球科学専攻	高棹 真介 助教
	5月13日 シングルセル質量分析イメージングでがん細胞中の脂質の分布を可視化することに成功	フォアフロント研究センター	大塚 洋一 准教授
	5月14日 鉄系超伝導体を用いて強磁場下で超伝導ダイオード効果を観測 —ボルテックスに由来する整流効果の仕組みを解明—	物理学専攻	塩貝 純一 准教授
	5月21日 ヘムタンパク質が植物の形づくりを制御するコケ植物と被子植物に保存されたRLFタンパク質の役割を解明	生物科学専攻	近藤 侑貴 教授
	7月2日 宇宙を読み解く新たな知性:量子×AI で異常なエネルギー放射現象を発見 —X 線宇宙観測データと量子機械学習の融合による世界初の成果—	宇宙地球科学専攻	川室 太希 助教
	7月8日 月面観測が「銀河宇宙線」の謎を解く可能性 —次世代MeVガンマ線天文学が異分野連携で新展開へ—	宇宙地球科学専攻	井上 芳幸 准教授
	7月15日 \季節の情報を伝える脳神経回路/昆虫の季節休眠を制御するのは神経ペプチド「コラゾニン」 —光周期の変化が昆虫の繁殖を制御するしくみを解明—	インターナショナルカレッジ（生物科学専攻兼任）	XIJILI 特任助教（常勤）
	7月22日 目に見える粉体でも、原子の結晶と同様に「転位すべり」が起こる —1点の欠陥によって、小さな力で粒状物質全体が変形することを発見—	宇宙地球科学専攻	仲井 文明 特任研究員（常勤）
	8月1日 植物幹細胞が“覚醒”するスイッチを発見 —植物が肥大成長を始める仕組みの解明—	生物科学専攻	近藤 侑貴 教授
	8月8日 \恩師のお名前から命名！/ ニハイチュウの新種2種類を発見 —25年で58種を日本沿岸で続々発見—	生物科学専攻	古屋 秀隆 教授
	8月22日 ナノスケールに捕獲したイオンの回転と振動を精密計測 —C60フラレニンに閉じ込めたリチウムイオンの運動状態を解明！—	熱・エントロピー科学研究センター	中野 元裕 教授
	8月27日 細胞たちの個性が、さなぎの大変身をスピードアップ	生物科学専攻	梅津 大輝 講師
	8月29日 高効率な室温りん光を示す分子液体を開発 —高速りん光が拓く、レアメタルフリーな柔らか発光材料—	化学専攻	谷 洋介 助教
	9月1日 磁束量子を半整数へ切替えるトポロジカル超伝導体 —新たな量子コンピュータデバイスへの道—	物理学専攻	新見 康洋 教授
	10月6日 中性子で界面構造を解明 —“はがせるのに強い” エコで便利な賢い接着剤—	高分子科学専攻	山岡 賢司 助教
	10月27日 折れ曲がった芳香環を持つカーボンナノリングの創出に成功 ひずみを利用したマルチスピン分子創出への大きな一歩	化学専攻	西内 智彦 准教授
	10月30日 宇宙最強の磁石 “中性子星” がみこむ多量のガスと回転スピードの未知なる関係を発見 —10年以上にわたるX線モニタリングの成果—	宇宙地球科学専攻	松本 浩典 教授
	11月4日 \電気で“スピン位相”を読み取る！/スピン流でらせん磁性体のスピン位相を検出 —ナノスケール磁性の新しい読み出し手法を提案—	物理学専攻	蔣 男 助教
	11月11日 ブラックホールに落ち込むプラズマの構造が明らかに！ — NASAの気球に世界最大の日本製の望遠鏡を搭載—	宇宙地球科学専攻	松本 浩典 教授
	11月20日 \電子の波を自在に操る！/プラスモンの速さを共振器で制御 —プラスモン波束を用いた高忠実度な量子回路を実現する新技術—	物理学専攻	高田 真太郎 准教授
	11月26日 液面に浮かべたゲル粒子でスロー地震を再現 —断層粒子のやわらかさと流体のながれが地震の質を変える？—	宇宙地球科学専攻	佐々木 勇人氏（博士後期課程）
2026年	11月26日 体内時計をもとに「休眠」を誘導する脳内機構の発見 —季節に応じて休眠状態への切り替えを行う神経細胞群—	生物科学専攻	志賀 向子 教授
	11月28日 ヒト細胞ゲノム、DNA複製開始の位置とタイミング決める仕組み解明	生物科学専攻	小布施 力史 教授
	12月16日 音波が誘起する量子化電流—ひずみを活用した新たな量子デバイスへ道—	物理学専攻	新見 康洋 教授
	12月18日 原子力技術で実現！白金族元素を「イオンのペア」で抽出・分離 —都市鉱山からの効率的な白金族元素リサイクルに活路—	化学専攻	金子 政志 講師
	12月18日 マテリアルリザー性能が向上する電子—イオン混合伝導 —イオンを積極的に活用したニューロモルフィック分子ネットワークの実証—	化学専攻	松本 卓也 教授
	1月6日 反強磁性体で電流による電子の液晶化を実証 —エレクトロニクス応用可能な電気抵抗変化として世界初観測—	物理学専攻	花咲 徳亮 教授
	1月6日 結晶中トリウム229原子核アイソマーのクエンチ機構の解明に前進 —固体原子核時計のリセットは電子が担う？—	化学専攻	笠松 良崇 教授
	1月8日 \活発な転写が要因！/転写が染色体異常を起こすメカニズムを発見 —セントロメア領域で染色体異常が起こるしくみ—	生物科学専攻	中川 拓郎 教授
	1月16日 量子物質に新たな境界線—磁性を生み出す近藤効果を実証—	先端強磁場科学研究センター	萩原 政幸 教授
	1月19日 \冷やしても電子のスピンは凍りつかない？/氷のような乱れによって電子のスピンが低い温度でも揺らいでいる状態を発見 —電子スピンがもつれながら揺らぐ機構の解明に期待—	物理学専攻	花咲 徳亮 教授
	1月21日 2つの架橋により強粘着と易解体を実現 —“強いのに柔らかい”引っ張って剥がして繰り返し使える粘着剤—	高分子科学専攻	小鯖 翔児氏（博士後期課程）
	1月30日 分子モーターによる秩序形成の原理を解明—細胞内の「秩序」が生まれる仕組みを発見—	生物科学専攻	松野 健治 教授
	2月25日 \欠けた月の見方が変わる!/?「月」の希薄な大気イオンの時間変化を発見 —月周回衛星「かぐや」が明らかにしたCNOイオン生成メカニズム—	宇宙地球科学専攻	寺田 健太郎 教授
	2月27日 超巨大ブラックホール周辺のX線エコーで銀河中心の構造を解明 —20年分の観測データで解像度の限界を突破—	宇宙地球科学専攻	宮本 愛子氏（博士後期課程）
	3月16日 体内時計の精度はタンパク質に内蔵されていた —シアノバクテリアの時計の本質を解明—	宇宙地球科学専攻	伊藤（三輪）久美子 特任助教
	3月23日 光で「分解」を自在にオンオフできる賢いプラスチックを開発 —丈夫さと分解性の両立を分子レベルで解明し、光によるQRコード描画にも成功—	高分子科学専攻	高島 義徳 教授

豊中キャンパスMAP



豊中キャンパス、待兼山の環境と歴史

理学研究科・理学部は、待兼山の豊中キャンパスにあります。待兼山は、北摂の中心都市、豊中市北部にあり、最頂部の標高は約77mです。東は千里丘陵、西は六甲山脈、北は箕面の山々、南ははるかに大阪市が望まれ、その間を摂津平野が起伏し、人家がたっています。夕方ともなれば、丹精とりどりの灯火が遠く近くきらめき、美しい様を眺めることができます。

待兼山あたりは古くから交通の要所でもあり、地質学、考古学、動植物や歴史、文学などいろいろな点で興味深く由緒ある地域です。昭和39年、理学部建設工事中に古代ワニの化石が発見され、ほぼ完全に復元されて(全長8m)「マチカネワニ」と命名されました。40万年前、このあたりは湿地で、マチカネワニやトウヨウゾウが生息していたのです。

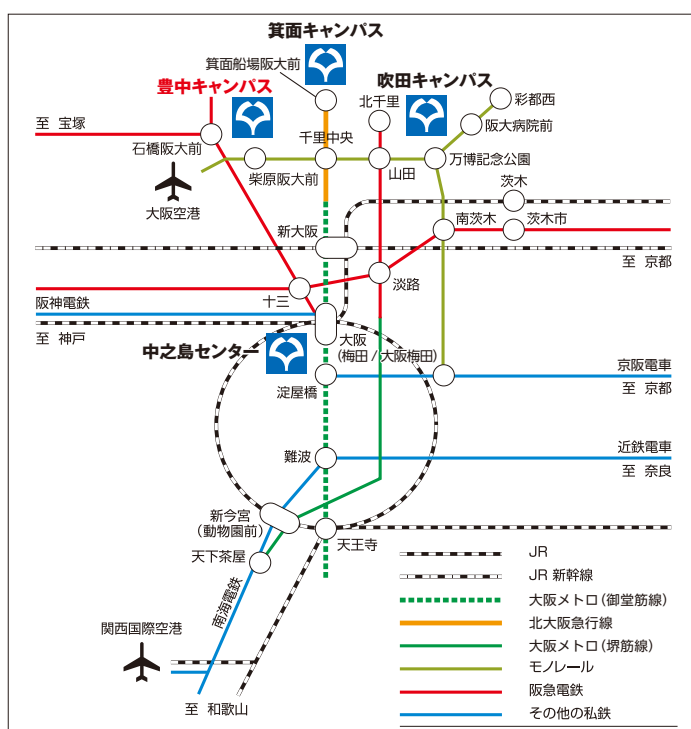
待兼山という名は、古典の中で「山はましかね山」(枕草子)「津の国の待兼山の呼子鳥」(古今和歌六帖)などとみえ、歌枕としてもつかわれています。

昭和55年から年次計画として重点的にキャンパスの緑化、整備が進められ、四季折々の花が咲く学園らしい環境を醸し出しています。

理学研究科MAP



アクセス



主要駅 空港からのアクセス

豊中キャンパス

阪急大阪梅田、JR大阪駅より(約50分)

阪急電鉄宝塚線「石橋阪大前」駅下車、東へ徒歩約30分

JR新大阪駅より(約40分)

大阪メトロ御堂筋線で「千里中央」駅下車
大阪モノレールで大阪空港方面「柴原阪大前」駅下車、
柴原阪大前駅より徒歩6分

大阪伊丹空港より(約15分)

大阪モノレールで門真市方面「柴原阪大前」駅下車、
柴原阪大前駅より徒歩6分

関西国際空港より(約2時間)

南海電鉄で「難波」駅下車、大阪メトロ御堂筋線で「千里中央」駅下車、
大阪モノレールで大阪空港方面「柴原阪大前」駅下車、
柴原阪大前駅より徒歩6分
JRで「大阪」駅下車、大阪メトロ御堂筋線で「千里中央」駅下車、
大阪モノレールで大阪空港方面「柴原阪大前」駅下車、
西へ徒歩約6分

空港リムジンバス伊丹空港行きで伊丹空港下車、
大阪モノレール門真市方面「柴原阪大前」駅下車、
柴原阪大前駅より徒歩6分



THE UNIVERSITY OF OSAKA
School of Science
Graduate School of Science

知を拓き、未来へ紡ぐ

理学とは、多様な自然の営みに誠実に向き合い、真理を探究していく学問です。その自然は元来、学問領域を超え、秩序だって調和しています。この様を透明感ある球体として表現しました。広範な自然科学の素養、柔軟な発想力、豊かな社会識見を持つ『光る』人材を金色の"S" (Science) で表し、世界トップレベルの基礎科学研究を推進することで、人類の知に貢献する大阪大学理学部、理学研究科の姿をイメージしました。

SYMBOL MARK DESIGN / CONCEPT
Forest Breeze

大阪大学大学院理学研究科・理学部

〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-1

Tel 06-6850-6111

<https://www.sci.osaka-u.ac.jp/>

令和8年7月 発行